



令和4年3月2日(水)
国土交通省関東地方整備局
千葉港湾事務所

記者発表資料

清掃兼油回収船「べいくりん」新造船が就役します。

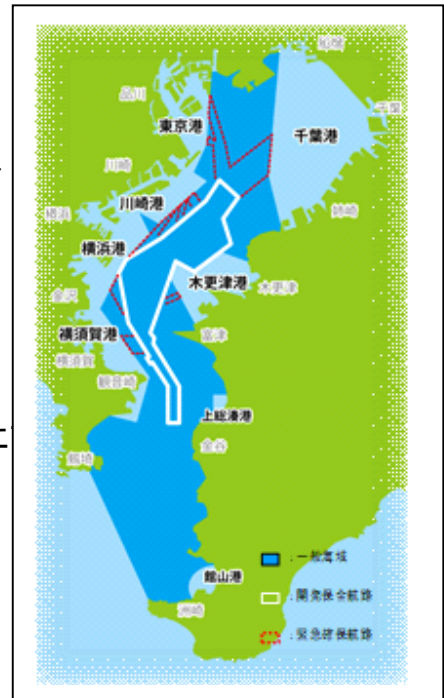
千葉港湾事務所では、東京湾の海洋環境を保全するとともに、航行船舶の安全を確保するため、清掃兼油回収船「べいくりん」による湾内巡視、浮遊ゴミや流出油の回収を行っているところです。

旧「べいくりん」は平成13年の就航以来、令和元年台風19号等の豪雨による東京湾への流入ゴミや流木を回収した他、東日本大震災発生時は、仙台湾におけるがれき回収にも災害派遣されるなど、これまで計4,900m³(4tトラック600台分)の浮遊ゴミを回収してきました。

同船は建造後20年が経過し、老朽化により本年2月に退役し、最新鋭の新造船「べいくりん」が3月2日就役しました。新造船の概要は別添のとおりです。

取材を希望される方は、3月3日(木)～4日(金)までにご連絡下さい。

なお、新造船の船名は一般に広く認知されていることから引き続き「べいくりん」と命名しました。



東京湾海洋環境整備事業管轄区域

■ 新造船係留場所

場 所： 横浜市神奈川区橋本町2-1-4 横浜港湾空港技術調査事務所構内

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会
横浜海事記者クラブ、千葉県政記者会

問い合わせ先

国土交通省関東地方整備局千葉港湾事務所

副 所 長 にいづま かずひろ 新妻 和洋 沿岸防災対策官 なかむらひろあき 中村浩明

電話 043-243-9173

新造船「べいくりん」の特徴

新旧「べいくりん」の比較

新造船は以下の通り機能アップが図られており、これまで以上に海面浮遊ゴミや油回収、海洋環境調査等での活躍が期待されます。

- ① 燃料のタンク容量が大きくなり、航続距離が630kmから900kmに向上
- ② 油回収装置は、「油分濃縮型油回収装置」を装備し回収能力が3倍に向上

	旧「べいくりん」	新「べいくりん」
		
建造年月	平成13年3月	令和4年2月
船型・船体材質	双胴・鋼製	
全長	約32.5m	約33.5m
全幅	約11.6m	約11.6m
深さ	約4.3m	約4.2m
喫水	約2.7m	約2.64m
総トン数	199トン	193トン
主機関	船用中速ディーゼル	船用高速ディーゼル
馬力	1000Kw(1300PS)2基	837Kw(1100PS)2基
ゴミ回収装置	スキッパー方式	
ゴミコンテナ容量	15m ³ × 2基	
油回収装置	渦流式	油分濃縮型
回収タンク	21m ³ × 2基	8m ³ × 2基
クレーン能力※	2.4t/10m～4.9t/5m	2.4t/10m～4.9t/5m
燃料タンク	10m ³ × 2基	12.5m ³ × 2基

※表示内容は、吊り上げ重量/ブーム長さ